

## キャピラリー電気泳動(CE)による エマルジョン中のイオン分析

### 概要

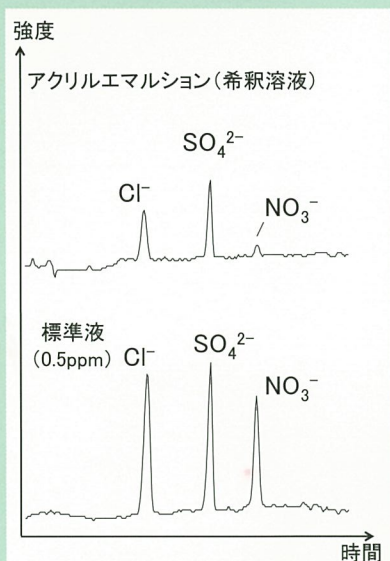
エマルジョンは、モノマー・各種助剤(開始剤・界面活性剤など)を用いて生成される。しかし、これら原料中の不純物やコンタミ等により、エマルジョン中に多種多様なイオン性物質が含まれ、その種類及び量によっては安定性が損なわれる。

このようなイオン成分の分析にはポリマーや界面活性剤の影響が少なく、簡便な前処理だけで定量分析が可能なキャピラリー電気泳動(CE)分析が有用である。

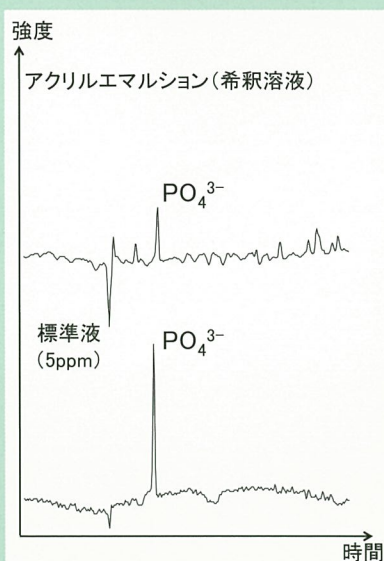
### ● 分析例

- 試料：アクリルエマルジョン(アクリルポリマー含有)
- 前処理：水にて希釈後、濾過
- 対象イオン：陰イオン、陽イオン(それぞれの緩衝液を選択)

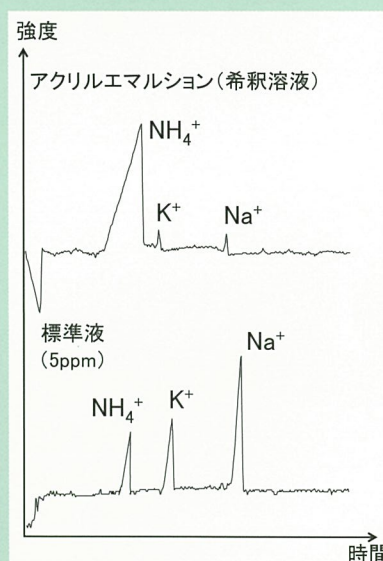
陰イオン分析条件①



陰イオン分析条件②



陽イオン分析条件



※ 各希釈倍率は異なる

定量結果(エマルジョン1gあたり)

	Cl <sup>-</sup>	SO <sub>4</sub> <sup>2-</sup>	NO <sub>3</sub> <sup>-</sup>	PO <sub>4</sub> <sup>3-</sup>	NH <sub>4</sub> <sup>+</sup>	K <sup>+</sup>	Na <sup>+</sup>
定量値(ug/g)	3.6	4.8	1.0	85	300	3.6	4.1

株式会社 三井化学分析センター

<http://www.mcanac.co.jp>

営業部 ☎ 03-5524-3851